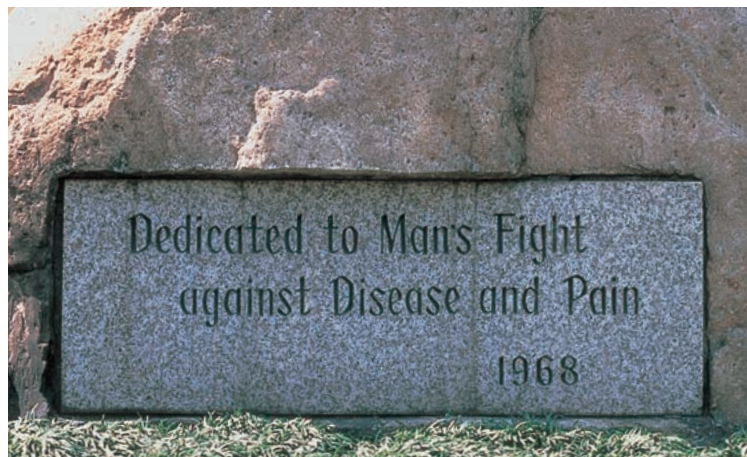


経営理念

創薬の拠点である水無瀬研究所の
建設記念モニュメントには、
当社の経営理念

「病気と苦痛に対する 人間の戦いのために」

"Dedicated to Man's Fight against Disease and Pain"
が刻まれています。



水無瀬研究所にあるモニュメントに刻まれた小野薬品の経営理念

初代 伏見屋市兵衛が大阪に薬種商の看板を

掲げたのは享保2年(1717年)、名将軍といわれた徳川吉宗の時代です。

私たちは創業以来、今日まで薬業一筋に邁進し、290年にも及ぶ歴史を築いてきました。

当社はこれからも変わることなく、モニュメントに刻まれた経営理念を大切にし、

ほぼ3世紀にわたる歴史のなかで継承されてきた独創的新薬の創製にかける情熱と、

これまでに培われた技術やノウハウを生かし、人々の健康な生活に役立つ医薬品の開発に努め、

社会に貢献していきたいと願っています。

世界に通じる独創的新薬の開発をめざして

「どこにもない、だれも手がけたことのない世界初の独創的な新薬を開発する」

当社の研究者すべてに受け継がれてきた不変の哲学です。

当社はこれからも創薬メーカーとして「これまで克服されていない病気に挑戦し、真に患者さんのためになる医薬品を開発して社会に貢献する」ことを研究開発理念とし、(1)競争力のある得意分野に重点化、(2)化合物オリエンティドの研究体制、(3)世界の最先端技術との交流、(4)研究のクオリティとスピードの追求、を研究開発の運営方針に掲げ、国際的新薬の開発をめざしています。

プロスタグランジン(PG)、酵素阻害剤、神経科学、細胞内情報伝達。4つの重点分野で、卓越した技術とノウハウを蓄積。

わたしたち新薬開発に挑む医薬品メーカーは、創薬研究のために膨大な時間と莫大な費用を投入しています。ひとつ

の有用な化合物が発見され、それが新薬として認められるまでには、10年から18年にも及ぶ長い年月、そして莫大な研究開発費用を必要とします。しかもどんなに時間や費用をかけても、必ずしも新薬が開発されるという保証はなく、その確率は発見された化合物の約10,000個に1個といわれています。当社は、世界に類のない新薬を求めて、このリスクの大きい新薬の開発に挑戦し続けています。

そして、当社ならではの独創的、革新的新薬を開発するために、プロスタグランジン、酵素阻害剤、神経科学、細胞内情報伝達に重点分野を絞り込み、創薬研究を進めています。



次世代創薬に向けて大きな成果が期待される「ゲノム」創薬

ヒトの全遺伝子の配列が解読されました。将来、遺伝子の機能とその制御の仕組みが解明されれば、理論的には全ての生化学情報が予測でき、病気の原因や治療法もはっきりするはずです。また、薬の効き方や副作用の原因などもより明確になると期待されており、「病気にかかりやすい」とか「副作用がやすい」といった個人ごとの体質の違いも、遺伝子のわずかな違いから判断できると言われています。

当社は、かねてから創薬の手段としてゲノム情報や遺伝子解析技術を積極的に利用するために、大学や海外の研究機関と共同研究を行ってきました。その中で数多くの新たな配列を持つ遺伝子を得ることができましたが、この新規遺伝子やその産物である蛋白質の中には、病気との関係が深いものもありました。わたしたちは、この遺伝子資産を次世代創薬に最大限生かしていきたいと考えています。



■ 会社の沿革

- | | | | |
|-------|--|-------|--|
| 1717年 | ・ 初代伏見屋市兵衛 創業 | 1990年 | ・ シアトル事務所開設 |
| 1934年 | ・ 合名会社 小野市兵衛商店設立 | 1992年 | ・ アルドースリダクターゼ阻害剤「キネダック」開発・上市 |
| 1947年 | ・ 小野薬品工業株式会社設立 | 1994年 | ・ 福井合成研究所竣工
ソウル事務所(現 ソウル支店)開設 |
| 1951年 | ・ 城東工場竣工 | 1995年 | ・ 東京・新社屋竣工(現 東京事業所)
世界初のロイコトリエン受容体拮抗剤「オノン」開発・上市 |
| 1962年 | ・ 大阪証券取引所上場 | 1998年 | ・ 米・英現地事務所を発展的に解消
英国に現地法人 ONO PHARMA UK LTD
米国に現地法人 ONO PHARMA USA, INC. を設立 |
| 1963年 | ・ 東京証券取引所上場 | 1999年 | ・ フジヤマ第7工場竣工 |
| 1968年 | ・ 中央研究所(現 水無瀬研究所) 竣工
世界で初めてプロスタグランジン(PG)全化学合成に成功 | 2000年 | ・ 小児科領域で初めてのロイコトリエン受容体拮抗剤
「オンドライシロップ」開発・上市 |
| 1973年 | ・ 世界初のPG医薬品「プロスタルモンF」開発・上市 | 2002年 | ・ エラスターゼ阻害剤「エラスポール100」開発・上市
短時間作用型β1選択的遮断剤「オノアクト50」開発・上市
筑波研究所竣工 |
| 1975年 | ・ フジヤマ工場竣工 | 2003年 | ・ 本社新社屋竣工 |
| 1977年 | ・ 蛋白分解酵素阻害剤「エフォーワイ」開発・上市 | | |
| 1982年 | ・ ロンドン事務所開設 | | |
| 1984年 | ・ 本社新社屋竣工(現本店) | | |
| 1985年 | ・ 福井安全性研究所竣工
経口蛋白分解酵素阻害剤「フオイバン」開発・上市 | | |
| 1987年 | ・ 水無瀬研究所新研究棟竣工(中央研究所を改称) | | |
| 1988年 | ・ 中央物流センター竣工
世界初のトロンボキサン合成酵素阻害剤「カタクロット」
開発・上市
世界初の循環器領域における経口PGE ₁ 誘導体「オパルモン」
開発・上市 | | |